

まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策事業の進捗状況一覧

資料3

基本目標 1 役割・しごとづくり (誰もが活躍できる役割・しごとをつくる)	数値目標	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年
	地域で「たつせがある」と思う人の割合	20.1%	21.5%	50%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年	平成28年度末までの取組み状況
ア 市民の力を活かした 新しい役割分担の 仕組みをつくる	1 ながくて地域スマイルポイント事業	市民が、住み慣れたまちで健康に自分らしく暮らし続けられるように、市民活動を推進し、地域社会へのさらなる参加を促進するため、市民活動に参加した人に対してポイントを付与します。貯まったポイントを、様々な特典に交換できるようにし、まちを活性化させます。	地域スマイルポイント事業参加者数	—	911人	300人	H27 事業内容の検討 H28 事業開始 福祉まつり等のイベントにて事業周知 ポイント交換者数 105人
	2 市民総動員のまちの計画づくりプロジェクト	市民が主体となって、お互いが関わり合いながら手間、暇をかけて、総合計画等のまちの計画を策定します。	総合計画等策定に携わった市民数	—	延べ0人/2年	延べ1,000人/5年	H28 事業開始 市民意識調査や総合計画の愛称募集を実施
	3 ながくて市民大学「いきいき！エルダー塾」	60歳以上を対象とした「交流」、「居場所」づくりを目的とし、座学を中心とした教養講座だけでなく、様々な体験やグループでの話し合い等を通じて、「まちづくり」にも関与していく人材を育成します。	ながくて市民大学「いきいき！エルダー塾」参加者数	延べ274人/年	延べ160人/年	延べ300人/年	H27 一般コース全13回延べ221人 専門コース全6回延べ72人 延べ293人 申込者数29人 H28 一般コース全13回延べ130人 専門コース全6回延べ30人 延べ160人 申込者数15人
イ 「農ある暮らし」で 好循環をつくる	4 まちなか農縁支援事業	都市部の市民が、「農」と触れ合う機会を増やすため、市民、NPO、農業者等の団体が取り組む多様な活動や付随する施設の整備を支援します。また、高齢者や障がい者を対象とした福祉農園や、放置された市街化区域内の空き地を利用する農園等の整備も支援します。	まちなか農縁参加者数	30人	20人	150人	H27 長久手市仏が根地内でまちなか農縁を開園 H27～H28 名古屋外国語大学の学生と連携し、野菜の栽培や収穫体験を実施
	5 長久手アグリサポートセンター事業	市内の農に関わるあらゆる取組を応援する「(仮称)長久手アグリサポートセンター」を設立し、まちなか農縁支援、農地のマッチング、農機具の貸出し、農業校※や市民農園(たがやっせ)の運営を支援します。 ※農業校とは、市民を対象とした「農業の基礎知識」から「実践的応用技術」までを学ぶことができる場のこと。	新規就農者数(法人を含む)	12人	18人/2年	20人/5年	H27～H28 空き農地等の情報を収集 H28 アグリサポートセンターの事業内容、収支計画、組織体制を検討
	6 農福連携支援事業(就労支援事業)	障がい者や生活困窮者の多様な就労機会を創出し、人手不足により耕作放棄地となっている農地の有効活用のため、自立支援農園の開設、整備、運営を支援します。	農福連携支援事業参加者数	—	28人	10人	H27～H28 市内4福祉事業所が真行田や杣ノ洞地内などで週1回程度の頻度で障がいのある方を対象とした農作業体験を実施
	7 田園バレー交流施設(あぐりん村)再整備事業	田園バレー交流施設(あぐりん村)の新たな魅力を創出するために、売り場の充実等を含めた再整備を行います。長久手温泉ござらっせの温泉施設と産直・体験施設の集客相乗効果により、市内外の住民、農家、消費者を巻き込む産業振興・観光・福祉拠点を形成します。	あぐりん村来場者数	延べ470,000人/年	延べ455,193人/年	延べ550,000人/年	H27 福祉の家・田園バレー交流施設再整備構想策定に向けた準備 H28 福祉の家・田園バレー交流施設再整備構想策定
ウ 雇用の創出で 地域を活性化させる	8 創業支援事業	市内に潜在的に存在する創業希望者を掘り起こすため、自治体、金融機関、商工会、大学が連携し、窓口相談、創業セミナー、融資などによる創業支援体制を構築し、本市での創業を支援します。この支援を近隣市町と連携して行うことにより、事業者が増え、新たな雇用が創出され、地域がにぎわう好循環をつくります。	創業者数	—	2人/2年	20人/5年	H28 事業開始 市町村窓口及びその他16施設で創業希望者及び創業者へのワンストップ相談窓口の創設 創業支援セミナーを4回開催し、市内在住者4名が参加
	9 住民起業支援塾	地域の課題を市民が主体となって解決することを目指す「コミュニティビジネス」の起業に必要な知識を学ぶ機会を提供します。	コミュニティビジネス起業者数	2人	3人/2年	10人/5年	H27 6名が参加する住民起業支援塾を8回開催 延べ48名 H28 7名が参加する住民起業支援塾を8回開催 延べ56名
	10 インターシップバンク制度事業	企業、団体に協力を呼びかけ、現在、市役所及び市関連施設が実施しているインターンの受け入れ先を拡大し、希望する大学生を受け入れるインターンシップバンク制度を構築します。	インターンシップ参加者数	—	—	20人	H27～H28 先進事例の調査・研究(東京都世田谷区)

基本目標 2 子育て支援 (子どもを通して家族と地域の輪が広がるまちをつくる)	数値目標	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年
	合計特殊出生率	1.55	-	1.6
	安心して子どもを産み、育てることができるまちだと思ふ人の割合	50.8%	51.8%	65%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年	平成28年度末までの取組み状況
ア 妊娠から出産、 育児への 切れ目のない支援	11 産前産後ヘルパー派遣事業	妊娠中又は出産後の体調不良等により、家事や育児が困難な方に対し、家事ヘルパーを派遣し、家事や育児の援助を行い、安心した生活ができるように支援します。	産前産後ヘルパー利用登録者数	-	39人/年	50人/年	親子(母子)健康手帳交付後から生後6か月になるまでの市内在住者に対し、家事援助を行うヘルパーを派遣。(利用料700円。1回2時間までを最大40回) ※利用者数 H27 11人 H28 16人
	12 出産祝い事業(木のおもちゃ等の支給)	友好都市である長野県南木曾町との地域間交流事業として、木曾の木材を使用した木のおもちゃ等を出産祝いとして配布します。	出産祝いを届ける家庭数	-	636家庭/年	500家庭/年	H27 事業開始 市役所から対象家庭あてに「出産祝い品申込書」を送付。約9割の家庭が申請を行っている。
	13 子育てコンシェルジュ設置事業	『子育てコンシェルジュ』として、子育て支援サービス等の情報提供、関連施設との連絡調整業務、サービス利用に関する相談業務、待機中の方へのアフターフォロー業務及び小学校低学年の放課後の居場所へのつなぎを行います。子どもを持つ保護者の相談に応じ、保護者のニーズと提供できる子育て支援サービス(幼稚園など一部教育サービスも含む)を適切に結びつけます。	子育てコンシェルジュ相談件数	-	延べ225件/年	延べ100件/年	H28 事業開始 週4日、子育て支援課にコンシェルジュ1名(社会福祉士)を配置 ①保育を中心とした相談、助言 ②保育施設に関する情報提供・連絡調整 ③待機児童へ他の子育て支援制度につなぐためのアドバイスを行う。
	14 休日保育の実施	働きたいと考えている保護者や、働きながら子育てをしている保護者のニーズに柔軟に対応するため、休日における保育を実施します。	休日保育利用者数	-	-	延べ600人/年	H27 近隣市町の休日保育利用状況等情報収集 H28 休日保育のニーズを把握するため長久手市の在園児の保護者就労状況の把握
	15 産後健康診査事業	出産後の母体の健康確保を図るとともに、経済的な負担を軽減するため産後健康診査の公費負担助成を実施します。	産後健康診査受診率	-	69.4%/年	80%/年	H28 事業開始 本市に住所のある母親に対し、産後8週以内(出産の翌日から56日間)に受けた産後健診1回分を助成する(上限金額5,000円) 対象者644人中447人が実施
イ 地域で支え合う 子育て支援	16 保育園、児童館等での地域交流事業 (「保育園おたすけたい」事業)	若者から高齢者まで幅広い世代の地域住民が保育園や児童館、児童クラブ等の環境整備や行事の補助などに知識や能力を活かしてボランティアとして関わり、子どもたちと交流することにより、地域に根ざした保育園、児童館等を目指します。	保育園、児童館等での地域交流事業参加者数	-	延べ509人/年	延べ360人/年	H27 保育園おたすけ隊開始(おたすけたい登録数60人 市内全7園で実施) 保育園で開催するイベント(散歩やカレーづくり等)のお手伝い 延べ205人参加(保育園のみ) H28 児童館おたすけたい開始(おたすけたい登録数50人 6施設で実施) イベント(講座の開催や館外整備など)のお手伝い
	17 地域学校サポート事業	学校、保護者、地域がともに連携し、子どもたちが安心、安全な生活ができるようにサポートします。登下校時の見守りや、授業中における障がいのある子どもなどの支援をサポート隊が行い、地域で、子どもを育てていく関係を構築します。	地域学校サポート隊参加者数	-	200人/年	700人/年	登下校の見守り活動を中心に、市全体で200人が地域学校サポート隊に参加をした。
	18 子どもチャレンジ事業 (こどもの夢サポート事業)	子どもの積極的な学習等の取り組みを応援することで、子どもの主体性を育成します。子どもが抱いた「夢」や「学習」等に対して、子ども自ら課題を見つけ、達成する過程で主体性を育ていき、大人は最小限の助言をします。	子どもチャレンジ事業参加者数	-	-	60人/年	H28 先進実施自治体である瀬戸市教育委員会の方を講師に招き、事例等を紹介する勉強会を市民と行った。 参加者数 60名
	19 土曜日学習サポート事業	子どもたちに、学ぶ楽しさを教え、基礎学力の向上や学習習慣の定着を図ることを目的とし、土曜日に学習等の機会を提供します。	土曜日学習サポート事業参加者数	-	延べ264人/年	延べ200人/年	H28 公民館で市内小学校1年生から4年生までの土曜英語事業を試行 (1、2年生)20人×8回=延べ160人参加(3、4年生)13人×8回=延べ104人
	20 放課後子ども教室の拡充	放課後に小学校の教室を活用し、小学生が安心・安全に集うことができる居場所として様々な体験・自主学習・交流活動を行います。 現在、西小学校、南小学校の2校で実施しており、今後、東小学校の増築にあわせて、事業の拡充をはかり、平成31年度を目標に全小学校区で開室します。	放課後子ども教室利用者数	延べ7,312人/年	延べ11,691人/年	延べ20,000人/年	H27 西小(224回、延べ3,394人)及び南小(223回、延べ5,324人)で実施、東小開設準備 H28 西小(223回、延べ3,300人)南小(229回、延べ4,761人)、東小(230回、延べ3,630人)の3小学校で実施

基本目標 3 地域コミュニティ・地域福祉 (地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる)	数値目標	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年
	地域活動や行事にスタッフとして参加したことがある人の割合	20.2%	22.0%	50%
	健康寿命	男性79.7歳 女性83.5歳	-	延伸

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年	平成28年度末までの取組み状況
ア 市民が支え合う コミュニティをつくる	21 小さな拠点形成事業(まちづくり協議会設立と交流拠点整備)	小学校区単位で地域活動を行っている様々な活動団体(組織)をネットワーク化して、「まちづくり協議会」を設立し、地域の課題を解決する取組を実施する仕組みを行います。また、まちづくり協議会の活動及び地域交流の拠点となる地域共生ステーションを小学校区ごとに整備します。	まちづくり協議会設立地区数	-	0地区/2年	6地区/5年	H27 西小及び市が洞小学校区でまちづくり協議会設立に向けた準備会を立ち上げ H28 北小学校区でまちづくり協議会設立に向けた準備会を立ち上げ
	22 市民と職員による市民協働プロジェクト	地域のことは地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」をつくることを目的として、市民と市職員で課題を解決するために、地域と連携した事業を進めていくとともに、市の施策や事業と協働することで「まちづくり」に関わっていきます。	市民と職員による市民協働プロジェクトチームが関わった事業数	2事業/年	10事業/年	20事業/年	H27 市民まつりのブース出店や防犯活動としてジョギングパトロールを行うなど計14事業を実施 H28 フットサルフェスやマイジョギングプラス等のスポーツを通して多世代が交流するイベント等計10事業を実施
	23 コミュニティ・ソーシャルワーカー配置事業	各小学校区に配置するコミュニティ・ソーシャルワーカーが中心となって設置する地区社協が、地域福祉の課題解決に取り組むことで、介護保険の対象とならない高齢者や閉じこもりがちな高齢者、子育て相談、DV相談、若者の不登校やひきこもり、障がい者の就労支援など、制度の狭間で困っている人を支援します。	コミュニティ・ソーシャルワーカー相談件数	延べ370件/年	延べ2,167件/年	延べ3,600件/年	西小共生ステーションや社会福祉協議会等でコミュニティ・ソーシャルワーカーによる相談を実施 H27 西小及び北小学校区で実施 H28 西小、北小及び市が洞小学校区で実施
	24 子ども防火活動事業	小学生の頃から防火や防災について学んでもらい、将来の地域防火や防災の担い手を育成することを目的として設立します。	子ども防火活動登録者数	-	-	30人/年	H28 先進事例の視察(千葉県浦安市)
イ 市民の健康寿命を 延ばす	25 健康チャレンジャー事業(健康マイレージ)	生活習慣の改善につながる取組を実践し、各種検診の受診、健康講座、イベント、スポーツ教室、などの「健康づくりメニュー」を取り組んだ方にマイレージ(ポイント)を付与します。マイレージを様々な特典に交換することにより、健康づくりにチャレンジしている人を支援します。	健康マイレージ優待カード発行者数	-	121人/年	150人/年	H28 事業開始 健康や運動に関することを実施し、自分でその都度シートに記録し、ポイントを貯め、50ポイント達成者を対象に協賛企業の商品が当たる抽選会を2回実施 ※年間32品を贈呈
	26 若者の生活習慣病予防事業(39歳以下健診)	健康診査を受ける機会のない若い年齢(16歳から39歳まで)の人が健康診査を受け、自らが健康に意識を持ち、生活習慣病を早期から予防するように促します。	39歳以下健診受診者数	351人/年	368人/年	400人/年	市民への事業周知 ①広報やホームページ ②乳幼児健診時のチラシ配布 ③事前に申込者へ受診券送付(希望者のみ)  16歳から39歳までの方を対象とし、無料で検査を実施(胸部X線(結核、肺がん)など全7検査)
	27 地域保健活動の充実	住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、心や身体の様々な問題点を保健師に気軽に相談することができる「まちなか保健室」を設置します。誰もが健康相談等を受けることができるよう、必要のある家庭に訪問する地域保健活動も充実します。	保健師による地域での健康相談件数	-	延べ537件/年	延べ240件/年	市内の公共施設(西小共生ステーション、児童館、その他公共施設)及び家庭訪問で健康相談を実施

基本目標 4 観光交流 (地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる)	数値目標	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年
	観光交流者数	約320万人	約330万人	約350万人
	地域における自慢すべき「宝」があると思 う人の割合	26.6%	26.2%	50%

基本的方向	施策・事業名	事業概要	KPI(重要業績評価指標)	基準値 2014(平成26)年	現状値 2016(平成28)年	目標値 2019(平成31)年	平成28年度末までの取組み状況
ア 地域資源を活かした 長久手の魅力と オリジナリティを 創造・発信する	28 シティプロモーション事業	民間の持つアイデアと活力を存分に発揮するため、観光交流協会を設立します。観光交流協会が中心となり、市民、大学、企業、関係団体との連携を図りながら長久手オリジナルの観光交流まちづくりを推進し、市内外に長久手の魅力を発信します。	観光交流協会取組事業数	—	12事業/年	20事業/年	H28 長久手市観光交流協会設立 ながくて冬まつり、観光交流ガイドブック発行、ながくてグルメまち歩きガイドブック発行、ホームページ運営、特産品サイト開発、Facebookの運用など全12事業を実施
	29 ながくてアートフェスティバル	市内にあるアトリエやギャラリー、自宅、施設などを会場にして市内全域で繰り広げるアートイベント。企画・運営は市内の美術作家を中心に市民自らがを行います。	ながくてアートフェスティバル参加者数	延べ15,000人/年	延べ16,897人/年	延べ20,000人/年	市内のアーティストと地域住民の交流を行うイベントを実施している。文化の家をはじめとした公共施設や市内の様々なお店などでアート作品を展示した。
	30 大学連携提案事業助成金事業	地域資源である大学を活かしたまちづくりを進めるため、大学による行政(地域)の課題解決に取り組む調査、制度構築等に対して助成金を交付します。	大学連携提案事業助成金交付件数	—	2件/年	4件/年	H27 まちづくりPR動画の制作(愛知県立芸術大学) H28 地域防災情報の多言語化(愛知県立大学)、VRを活用した体験型歴史プロジェクト(愛知県立大学)
	31 長久手版「プレーパーク」事業	「自分の責任で自由に遊ぶ」をコンセプトにした「遊び場＝プレーパーク」で、プレーリーダーや地域のボランティアが見守る中、子どもたちが屋外で遊ぶことを通して、主体性、社会性、コミュニケーション能力を育成します。	プレーパーク参加者数	—	—	延べ120人/年	H27 先進地視察 H28 市内のNPO法人代表によるこども塾周辺の視察 こども塾まつりの開催 151人が参加
イ 人が集まり情報の 受発信が行われる 交流の場の創造	32 リリモテラス整備事業	長久手古戦場駅前にまちの新たな顔として「リリモテラス」を整備し、市民の日常の暮らしを支え、訪れる人をもてなす空間を創出します。大学連携、観光交流、多文化共生等をテーマとした公益施設を設置し、市民活動団体、大学、学生等によるプログラム・イベントを展開し、おもてなしの空間及びまちなかの賑わいを創出します。	リリモテラス事業参加者数	—	—	延べ30,000人/年	H27 リリモテラス公益施設(仮称)整備基本計画策定 H28 リリモテラス公益施設(仮称)整備詳細計画作成
	33 まちセンカフェ (まちづくりセンターを拠点とした市民団体 による交流促進事業)	地域住民、市民活動団体、市職員が語り合いながら、活動のつながりと広がりを生み出し、また、「まちづくりセンター」を気軽に便利な施設として活用し、人材、地域ニーズ、アイデアを発掘するため、カフェを開催します。	まちセンカフェ参加者数	延べ300人/年	延べ162人/年	延べ400人/年	カフェのように落ち着いた雰囲気の中で市民同士が気軽に出会い、交流するイベントを実施。長久手の歴史や里山を知るための講座を開催した。 H27 6事業を実施 延べ121人の参加 H28 9事業を実施 延べ162人の参加 カフェの運営を市民団体のういっいの会に事業委託